

宇宙開発に欠かせない 安心安全の基盤を作る



株式会社コスモテック 南日本事業部
品質保証課 品質保証係 主任

わだ ちなみ

和田 智奈美 さん

- ✓ 種子島・南種子町出身
- ✓ 出版社から宇宙開発に関わる企業へ転職
- ✓ 趣味はフラダンス

時間の過ごし方を変えたからこそ気付いた 仕事の楽しさと、ゆっくり過ごすことの良さ

小学校高学年までを種子島・南種子町で過ごし、親の仕事の関係で鹿児島市内へ。短大卒業後、出版社に就職し、企画・編集・営業と全てに携わり、当時は深夜残業も当たり前だったという和田さん。毎日一生懸命働き、週末もギリギリに予定を詰めて過ごしていた中、ゆとりあるライフスタイルに憧れを持つように。「種子島でゆっくり過ごしたら？」という両親のアドバイスを受け、種子島にUターンしました。

当初は、コスモテックの事務員として、契約社員からキャリアをスタート。現在は正社員となり、品質保証のための検査業務を行う検査員として、材料・購入部品の検査や、ロケット打ち上げ設備の点検等を行っています。「知識を習得することで仕事の幅が広がって

いくことに楽しみを感じています。そのため、資格取得にも挑戦しています」と話します。

仕事に打ち込みながらも、プライベートではフラダンスを習いはじめたという和田さん。「忙しい方がより良い人生だと思っていたけれど、家に帰ってゴロゴロとゆっくりする時間も良いなと。島でプライベートも楽しみながら、充実した生活をしていますよ!」と、満面の笑みで教えてくれました。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

宇宙開発の基盤を作る仕事なので、多くの人の目に触れる華やかな仕事ではありませんが、自分に関わる仕事の先にロケットの打ち上げがあるのは魅力だと言えます。また、福利厚生も手厚く、有給休暇取得率が高い職場環境なので、プライベートも充実させられるところもおすすめです。



種子島の製糖工場を支える 若きホープ



新光糖業株式会社 中種子工場 工務部工務課

ふるいち ひろあき

古市 寛明 さん

- ✓ 種子島・西之表市出身
- ✓ 学んだことを生かしてUターン
- ✓ 趣味は釣りや海遊び、野球

成長して、 島に帰ってきたかった

大学進学をきっかけに、一度は島を出たものの、もともと種子島に帰ってくるつもりだったと話す古市さん。鹿児島市内の大学で機械工学を学んだ後、福岡の製鉄会社に就職し、社会人生活をスタートさせましたが、「結局は島に帰ってきたかった。ずっと暮らしてきて楽しかったし、3年ぐらい働いたら種子島に帰ろうと思っていた」と当時を振り返ります。

Uターン後、両親や知人の勧めもあったことから、新光糖業で働き始めます。通常、社員は50人弱ですが、12月からはじまるサトウキビの収穫時期になると嘱託社員や季節従業員含め120人ほどに増えます。古市さんは、その中で機械、建物を含めた施工や修理、整備の段取りや発注などを行っています。

仕事でやりがいを感じるのは、「無事に任された仕事が終わって出来上がったとき」とのこと。工場から出るサトウキビを絞った時に出る絞りかすや重機等を一時保管する建屋の施工・建築は、入社後に取り掛かった大きな仕事のひとつだと話します。古市さんが携わった建屋は、工場を支える欠かせない建物として、立派に建っています。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

前職は、鉄を作る仕事でしたが、やはり同じ「つくる」仕事なら食べられるものがないなどこの仕事を選びました。出来立ての砂糖はとても美味しいです。自分たちが作ったものを口にできるし、消費者にも届けられるので、仕事をしたという実感が湧きます。

